



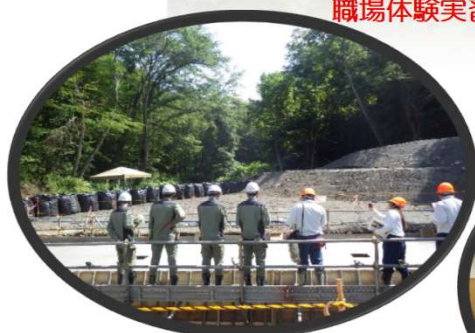
北海道森林管理局

十勝西部森林管理署



日高山脈と十勝平野

帯広農業高校生徒の
職場体験実習



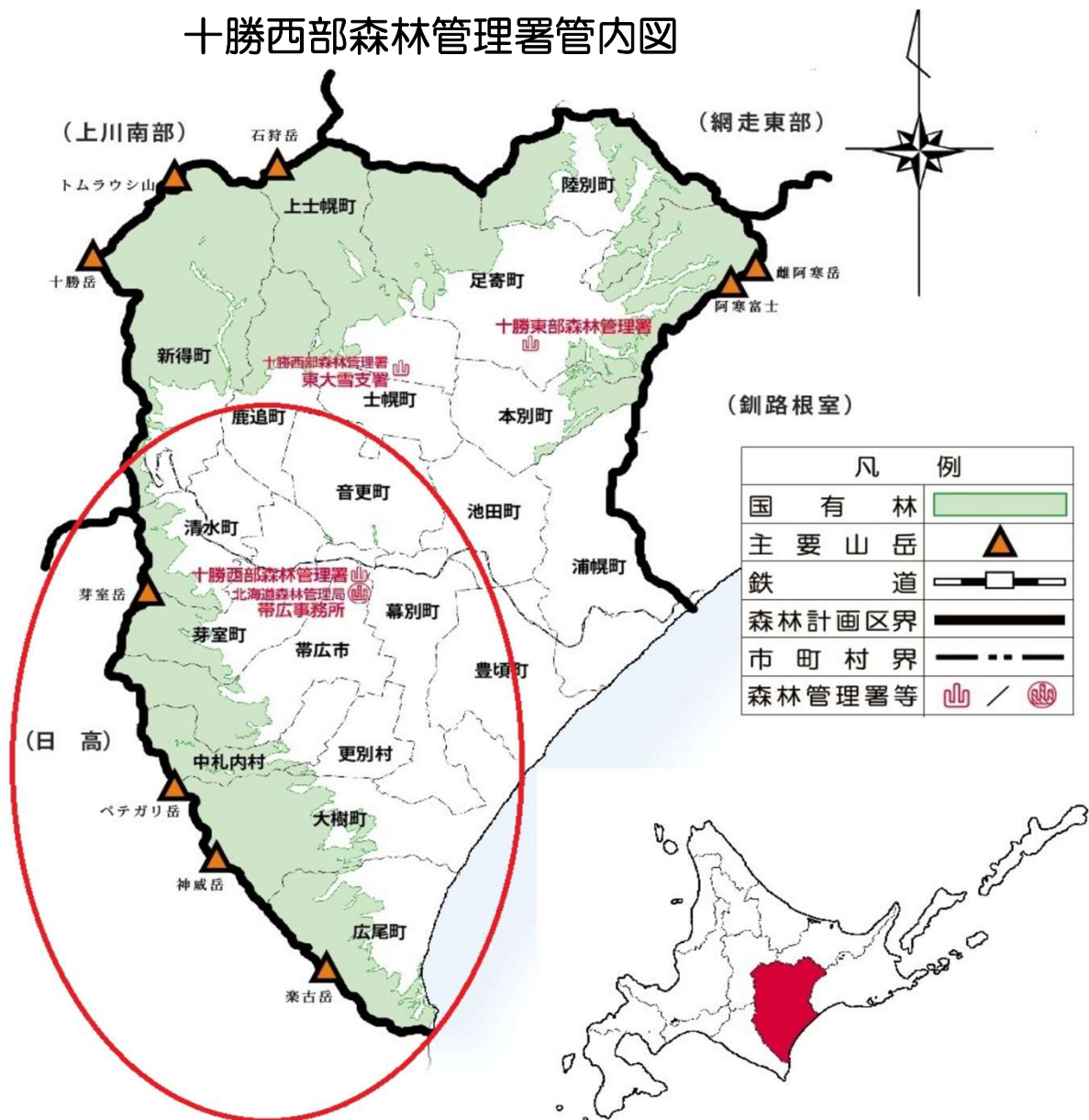
帯広市緑が丘公園新緑まつりにて
イベントブースを開設



『国民の森林』 国有林を管理しています

十勝西部森林管理署は北海道に24ある森林管理署（支署）の一つです。
 当署は、十勝平野の西部に位置し、十勝流域1市5町2村（帯広市、音更町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町）に広がる、面積約14万haの国有林を管轄しています。
 管理面積のうち、約55%（約77千ha）が日高山脈襟裳十勝国立公園に指定されており、十勝平野の広大な田園風景と雄大な山岳景観のコントラストが特徴的です。

十勝西部森林管理署管内図



機能類型にふさわしい 森林の取扱いを進めています

国有林では、公益的機能の増進を重視した管理経営を行うため、森林の重視すべき機能に応じて「水源涵養タイプ」、「自然維持タイプ」、「山地災害防止タイプ」「森林空間利用タイプ」、「快適環境形成タイプ」の5つの機能類型に区分し、各機能の発揮を目的とした管理経営に努めています。十勝西部森林管理署における機能類型別の面積は以下のとおりです。

機能類型区分 面積

森林施業の考え方

山地災害防止タイプ

山地災害の防止や土壌保全の機能を第一とする森林

30,528ha(21.8%)

木の根や表土の保全、
下層植生の発達した森林の維持



朝月の沢（広尾町）

自然維持タイプ

原生的な森林生態系や希少な生物が生育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能を発揮を第一とする森林

78,951ha(56.5%)

良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の生育や生息に適した森林の維持



楽古岳（広尾町）

森林空間利用タイプ

保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とする森林

613ha(0.4%)

保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林の維持と造成



国見山自然観察教育林
（芽室町・音更町）

快適環境形成タイプ

騒音や粉塵等から地域の快適な環境を保全する機能の発揮を第一とする森林

該当なし

汚染物質の高い吸着能力、抵抗性がある樹種から構成される森林の維持



ピョウタンの滝（中札内村）

水源涵養タイプ

良質な水の安定供給など水源の涵養機能の発揮を第一とする森林

29,740ha(21.3%)

広葉樹の導入による育成複層林への誘導等を推進し、森林資源の有効活用にも配慮

合計面積 139,832ha

森林の公益的機能の維持増進のために さまざまな取組を進めています

公益林の保全増進

札内川上流域の森林は、人口約16万人を抱える帯広市の水瓶として、水需要に応えるための良質な水源を維持し、良好に保全するとともに、多くの市民が利用する憩いの森林としての役割を果たしています。

水源涵養機能の維持・増進、地域の環境保全等を図るため、保育・間伐等の森林施業を適切に実施しています。



札内川上流域の森林（札内川ダム）

保安林の整備

土砂の流出・崩壊の防備、水源のかん養や防風機能等が特に求められる森林（管内国有林の96%）を『保安林』に指定しています。

その働きが失われないよう適切な森林整備に努めるとともに、災害を防止するための『治山ダム』、崩壊地の植生を回復する『山腹工』を施工しています。



防風保安林（音更町下土幌）

保護林の指定

原生的な天然林を保存することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、学術研究などに資することを目的とする日高山脈森林生態系保護地域、森林生態系に係わる主要林業樹種及び希少樹種などの生物遺伝資源を自然生態系内に広範に保存する林木遺伝資源保存林等の7箇所、約77,769haの保護林を設定しています。



日高山脈森林生態系保護地域
（伏美岳から戸髙別岳を眺望）

レクリエーションの森の設定

人と森林とのふれあいの場を提供するため、四季折々の自然の美しさを楽しむことができるレクリエーションの森（自然観察教育林）を設定し、森林とのふれあい環境を提供しています。

十勝西部森林管理署には1箇所、約66haのレクリエーションの森があり、地域の皆様に親しまれています。



国見山自然観察教育林（展望台）

シマフクロウの生息地拡大に向けた取組

国内では北海道にしか生息していないシマフクロウですが、その数は175羽程度といわれており、国内希少野生動植物種や国の天然記念物にも指定されています。

十勝西部森林管理署ではシマフクロウの好適生息環境の整備に資するため、有識者を招いて現地検討会を開催するなど、生息地拡大に向けた取り組みを行っています。



シマフクロウ
（絶滅危惧ⅠA類に区分）

『国民の森林』にふさわしい 開かれた管理経営を目指します

森林林業に関する情報・サービスの提供

国有林の経営に当たっては、「国民の森林」にふさわしい、国民の皆様が開かれた管理経営を目指します。このため、森林計画の案の公表、意見の聴取や管理経営状況の公表をはじめ、森林・林業に関する情報・サービスの提供に努めます。

計 画

国有林の管理経営は、地域管理経営計画などの計画に基づいて行います。計画の策定に当たっては、地元意見交換会などの機会を通じて広く国民から聴くよう努めています。また、とりまとめた計画（案）については、公告・縦覧等により国民の皆様や市町村など関係行政機関のご意見を予めお伺いし、反映するよう努めています。

森林・林業の普及・啓発活動

小学校などからの要請に応じ、森林教室・体験学習の講師として職員を派遣しています。



帯広市児童会館との連携による出前講座

流域を単位に、民有林行政と連携した取組を進めています

流域管理の推進

地域における適切な森林整備の実施や林業・林産業の再生を図るためには、流域を単位として、民有林と国有林で協調しながら、計画をたて、事業を進めることが重要です。

このため、民有林行政を担当する道や市町村等と連携して、流域の課題やニーズを的確に把握するなかで、低コスト・高効率作業システムの現地検討会の開催等の取組を行っています。

■市町村別の森林の現況

市町村	※1 総面積 (ha)	※2 国有林 (ha)	※3 民有林等 (ha)	森林面積 (ha)	森林率 (%)	国有林率 (%)	※4 人口 (人)
清水町	40,225	11,386	6,331	17,717	44.0	28.3	8,531
帯広市	61,934	20,854	4,649	25,503	41.2	33.7	158,699
芽室町	51,376	15,388	6,208	21,596	42.0	30.0	17,454
音更町	46,602	51	11,647	11,698	25.1	0.1	41,870
中札内村	29,258	16,717	2,100	18,817	64.3	57.1	3,746
更別村	17,690	567	2,031	2,598	14.7	3.2	3,055
大樹町	81,567	41,406	16,831	58,237	71.4	50.8	5,156
広尾町	59,648	32,626	14,442	47,068	78.9	54.7	5,649
計	388,300	138,995	64,239	203,234	52.3	35.8	244,160

※1 総面積・・・北海道統計書第133回（令和8年3月発行）による。

※2 国有林面積・・・十勝森林計画区の森林計画書（令和5年12月25日樹立）による。

※3 民有林等・・・令和6年度北海道林業統計（令和8年3月）による。国有林野事業所管の国有林以外を含む。

※4 人口・・・市町村ホームページ（令和8年5月21日調べ）による。

林政連絡会議による民有林行政との情報交換

森林の有する多面的機能の発揮や林業の持続的な発展のため、民有林と国有林との連携した取組が重要となっています。

民有林と国有林が連携して流域の森林整備等を進めるため、十勝総合振興局と「十勝地域林政連絡会議」を開催し、林業施策等の情報交換や現地検討会などの技術交流を行っています。



十勝地域林政連絡会議の様子

重視すべき機能に応じた森林の整備と保全を推進します

■多様な森林づくりの推進

林業適地の人工林では、高性能林業機械等による効率的な施業を実施し、木材の安定供給や再造林の着実な実施を進め、これらの成果の民有林への普及等に貢献します。その際に、複層状態の人工林の整備や小面積・モザイク配置に留意した施業を進め、公益的機能の高度な発揮に努めます。

また、条件が不利な奥地の人工林では、天然力を生かしながら針広混交林化への誘導を推進していきます。

なお、人工林の主伐に際しては、生物多様性の保全の観点から、人工林に侵入した広葉樹等の天然木は積極的に保残していくなど「保持林業」に取り組みます。

「新しい林業」を推進します

■丸太の生産性向上

丸太生産の各工程の進捗を記録・解析による低い工程の「見える化」、針葉樹低質材の層積検知による省力化により、生産性向上に取り組みます。

■生産と造林事業の省力化・効率化

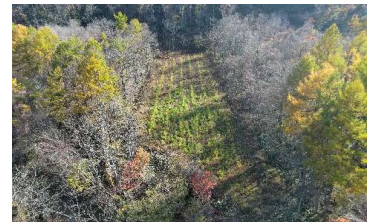
地持ちの大型林業機械の活用や低密度植栽を推進し、その後の造林作業に機械を活用できる仕様とする事業地の拡大に取り組みます。

■普及・労働災害防止

現地検討会等により、民有林関係者等への普及・定着に取り組みます。

また、関係機関等と連携し、労働災害の防止に向けた取組を進め、夏場に下刈り作業を行わない場合の実施期間延長に対応する等、熱中症対策にも取り組みます。

帯広労働基準監督署と合同の安全指導の様子



低密度植栽&無下刈試験地を上空から撮影



道産材の安定共有を推進します

■広葉樹資源の供給

施業を通じて生産される広葉樹は、需要ニーズを踏まえた採材・仕分けを行い、銘木市等で積極的に販売します。

■虫害対策の実施

虫害対策のため、夏場に委託販売の回数を増やし、生産から販売までの期間を短縮します。



集材されたカラマツ材

自然豊かな国有林で 緑と友達になってください

緑のなんでもご案内

レクリエーションの森

名 称	み どころ	アクセス
国 見 山 自然観察教育林	帯広市の近郊林で外国樹種等の人工林と天然林が織りなす優れた景観を楽しめます。	JR帯広駅から車で約20分

登 山

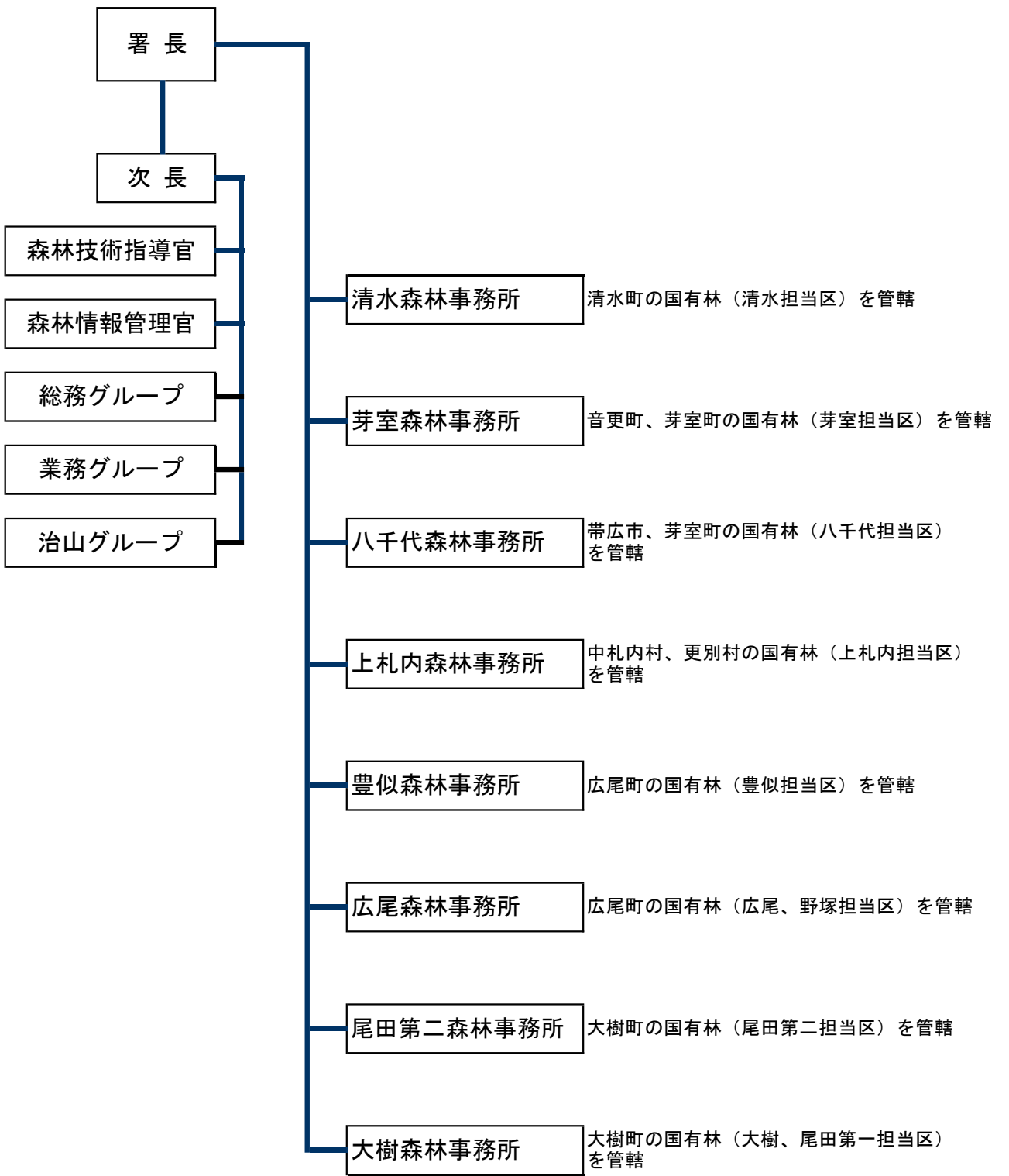
名 称	概 要
芽 室 岳	山頂からは幌尻岳はもちろん遠く中部日高カムイエクウチカウシ山まで望むことができます。芽室町ではなく清水町にある山です。
伏 美 岳	登山道があり、登りが比較的容易で北日高を一望できる展望の山です。登山道はピバイロ岳まで続いています。
戸 蔭 別 岳	北日高の中でひときわ鋭く尖った山容を見せているので、どこからでもそれと認めることができます。展望も大変すばらしく、カンラン岩が露出した斜面では珍しい花も見られます。
十 勝 幌 尻 岳	日高山脈国境稜線上のエサオマントツタベツ岳から東に派生する支稜上東端に位置します。山頂からは札内川上流域の展望が楽しめます。
エサオマントツタベツ岳	日高山脈の北部にあり、百名山の幌尻岳からは新冠川をはさんで南東方向に位置します。顕著な二つのカール、北東カールと北カールを持ちます。
コイカクシュサツナイ岳	中部日高の中ほどに位置する山で、縦走の途中でその頂を踏まれることが多いです。鋭く尖った山が多い中部日高にあっては比較的どっしりとした山容を見せています。
ペ テ ガ リ 岳	日高山脈にあってその知名度は幌尻岳と並んで高い山です。山容は切り立つ南面、三つのカールを抱く東面が特に印象的です。
楽 古 岳	日高国境稜線上で一般登山道のある山としては最南端に位置しています。尖ったピラミッドに認めることができます。山頂からは山脈が太平洋に沈んでいく様がよく眺められます。

☆登山道入口等に入林（入山）者名簿がある場合には、氏名などを記入してください。事故発生の場合の捜索や、利用者の動向を知るための資料として活用します。

☆登山道に通じる林道の状況については、北海道森林管理局のホームページから「登山等に関する通行規制等について」をご覧ください。

☆十勝西部森林管理署では、「登山計画書」（登山届）は受け付けておりません。警察署への届出をお願いします。北海道警察本部のホームページから「安全登山情報」をご覧ください。

組 織 図



署の沿革

明治41年	内務省所管国有林 釧路営林区署河西区署として発足
昭和 3年 6月	帯広営林区署として開設
昭和16年12月	帯広営林区署を分割して清水営林区署を設置
昭和22年 5月	林政統一により農林省所管となり営林区署から営林署に名称変更
昭和29年 7月	清水営林署を分割し新得営林署を設置
平成 4年 3月	帯広営林署と清水営林署を統合、署名を帯広営林署とし清水町に設置し、帯広市に帯広営林署の下部組織として帯広森林経営センターを置く
平成11年 3月	組織再編により、十勝西部森林管理署に名称変更される
平成13年 8月	事務所等の統廃合による区域整序により、新得町、鹿追町は東大雪支署に編入、十勝西部森林管理署は、下部組織の帯広森林経営センターを本署に編入した
平成16年 4月	事務所等の統廃合により、下部組織の大樹森林管理センターを本署に編入した、当署の機構は総務課、業務第一課、業務第二課、治山課の4課制及び10森林事務所において管理経営を行い、管轄する関係市町村は帯広市、清水町、芽室町、音更町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町の8市町村に及んでいる
平成17年 4月	設置場所を清水町から帯広市に移し、北海道森林管理局帯広事務所と合同庁舎として帯広市東9条南14丁目2番地2に置く
平成25年 4月	国有林野事業特別会計から一般会計に移行 組織の再編（課制からグループ制へ）

令和8年度 主要事業量

区 分		単位	令和8年度	備 考
販売量	立木販売	m ³	12,300	
	製品販売	m ³	26,000	
造 林	更 新	ha	43	
	保 育	ha	44	
林 道	新 設	m	-	
治山事業		百万円	233	

注1：造林の更新は、新植、改植の植付、天I地拵の合計である。

注2：造林の保育は、下刈、つる切、除伐、除伐2類、保育間伐（高齢級含む）の合計である。

注3：造林の更新、保育面積には、治山費による実行分を含む。

庁舎

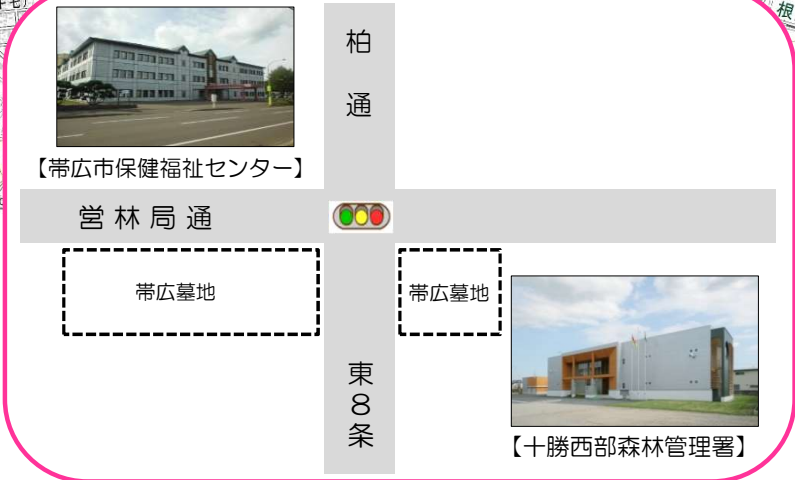
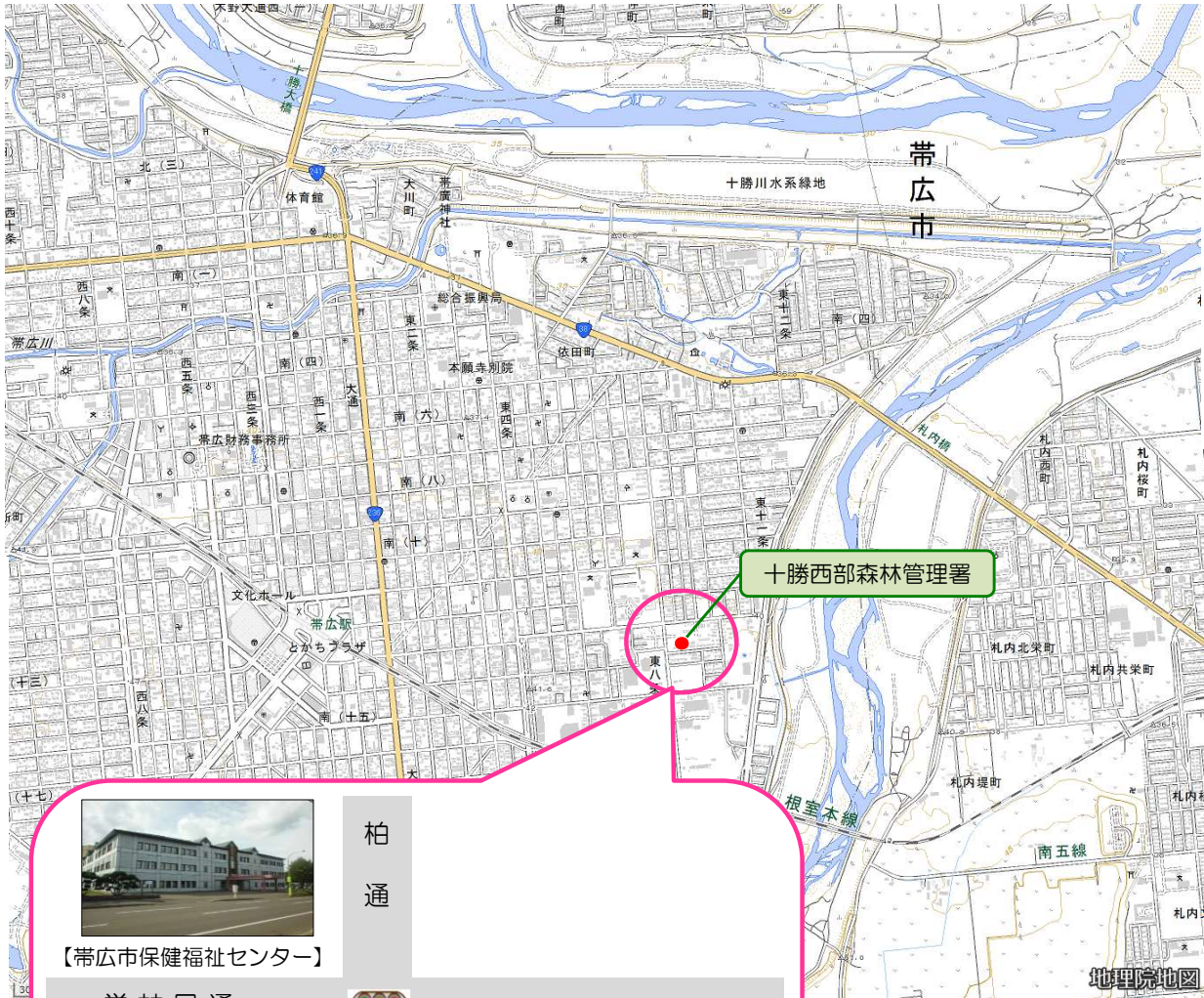


木のぬくもりに包まれた優しく、あたたかな庁舎には約260立方メートルの木材を使用しており、正面玄関付近の外壁、柱・梁などの構造材（大断面集成材）にカラマツ材。床にはナラ、窓枠にはヤチダモ、壁にはセン等の広葉樹材を使用しています。
ロビーには間伐材や端材から作られるペレットを燃料とするペレットストーブを設置してあります。

アクセス

- ☆JR帯広駅から車で約10分
- ☆とち帯広空港から車で約40分

周辺図



「電子国土Web」(国土地理院) (<https://maps.gsi.go.jp>)
をもとに北海道森林管理局作成



林野庁 北海道森林管理局

十勝西部森林管理署

〒080-0809 帯広市東9条南14丁目2番地2

電話 0155-24-6118

I P電話 050-3160-5795

E-mai h_tokachiseibu@maff.go.jp